

各位

全3ページ  
登録速報(2026-056)  
2026年4月8日  
クミアイ化学工業株式会社  
企画普及部普及課

## 登録速報

下記の通り適用拡大登録となりましたので、ご連絡します。

適用拡大登録年月日：2026年4月8日

イソチアニルの再評価が終了になりました。

## 記

### 1. 農薬の種類、登録番号及び名称

種類：クロチアニジン・イソチアニル水和剤

登録番号：第23207号

名称：ツインターボ顆粒水和剤

### 2. 農薬の物理的・化学的性状

類白色水和性細粒

### 3. 農薬の有効成分の種類及び含有濃度

(E)-1-(2-クロロ-1,3-チアゾール-5-イルメチル)-3-メチル-2-ニトログアニジン … 15.0%

3,4-ジクロロ-2'-シアノ-1,2-チアゾール-5-カルボキサンリド … 20.0%

### 4. 農薬のその他の成分の種類及び含有濃度（15に掲げる事項を除く。）

界面活性剤、鋳物質微粉等 … 65.0%

6. 農薬の使用上の注意事項（8に掲げる事項を除く。）

- (1) 本剤をペースト肥料と混合して側条施用する場合は次の事項に注意すること。
  - ① 予め本剤を同重量の水に混ぜ、これをペースト肥料に加えて均一に混合し、側条施肥田植機で本田に施用すること。
  - ② 本剤と混合したペースト肥料はその日のうちに使用すること。
  - ③ 砂質土壌及び漏水の大きな水田での使用はさけること。
  - ④ 同一の病害虫を防除対象とする育苗箱施用薬剤とは併用しないこと。
  - ⑤ 使用した機械を洗浄する際は、洗浄水が水路等に流入しないよう注意すること。
  - ⑥ 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
- (2) 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出したりしないように注意すること。
- (3) いぐさ栽培予定水田では使用しないこと。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないこと。
- (4) 本剤を稲（箱育苗）に使用する場合、きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理すること。  
また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけること。
- (5) 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当りに乾糶として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が100g／10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を5から10gまでの範囲で調整すること。
- (6) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

7. 人畜に有毒な農薬については、その旨、使用に際して講ずべき被害防止方法及び解毒方法

(1) 人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

ア 農薬使用者に係る注意事項

① 毒性情報

アレルギー性反応を起こすおそれがある。

(2) 使用に際して講ずべき被害防止方法

ア 農薬使用者に係る被害防止方法

① 防護装備

[薬剤調製者]

稲：不浸透性手袋

[散布者]

稲：不浸透性手袋

8. 生活環境動植物に有毒な農薬については、その旨

- (1) 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 散布後は水管理に注意すること。
- (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきることに。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

9. 引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨  
通常の使用方法ではその該当がない。

10. 農薬の貯蔵上の注意事項

直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。

以上